

第35期（第3回）神戸市社会教育委員会議事録（要旨）

1. 日 時：令和元年9月5日（木）11：00～12：00

2. 場 所：神戸市役所3号館8階 教育委員会室

3. 出席者：

(1) 社会教育委員8名（花岡委員、藤坂委員欠席）

(2) 事務局 東教育企画担当課長、安田担当課長（埋蔵文化財センター）、
鎌田担当課長（中央図書館）、山本学芸課長（博物館） 他

4. 開 会：教育企画担当課長

5. 議事・報告事項：

（1）第35期第2回会議議事録【要旨】の確認について

（事務局）資料1により、前回の会議議事録（要旨）について説明

（議 長）質問、意見はあるか。

（委 員）訂正箇所2カ所指摘

（2）令和元年度社会教育関係団体への補助金交付について

（事務局）資料2により、交付対象団体、活動の詳細、交付理由、金額について説明

（議 長）社会教育団体補助金について、これはひも付きではない。つまり、各活動について補助金を出すというスタイルではなく、団体の活動を総じて、社会教育を推進していく団体の維持・運営のために補助金を出すというスタイル。個々の活動を取り出して補助金の対象とする権限は基本的でない。これまでも何度か議題にあがっているが確認までに。

他に気になる点はあるか。

（委員全員）特に質問、意見なし

（議 長）なければ2団体への補助金交付については異議なしとする。

（3）第3期神戸市教育振興基本計画について

（事務局）資料3により、計画の内容、主に子供の読書推進活動の計画が盛り込まれた重点事業1・2と社会教育に関連する重点事業14について説明

（議 長）私と辻委員は検討委員会にも参加しており、現状、計画はほぼ固まってきていると認識しているが、内外の評判はどうか。

（事務局）いろいろな意見はあるが、概ね肯定的であると思う。ただし、今月20日の文教こども委員会で正式に（市議会への）報告をあげるが、そこでの反応は未知数。11月に予定しているパブリックコメントで市民の方からの意見を頂戴する予定。

（議 長）これまでで、何か質問等あるか。

（目黒委員）私の認識が間違っていたのか、子供の読書活動推進計画の第4次計画を‘作らない’とは理解していなかった。教育振興基本計画に第4次計画をまとめた形で載せるのは難しいので、今回のように3つの重点事業にバラして載せるのは仕方が無いとして理解をしていた。政令市で第4次子供読書推進計画を作ら

- ないのは神戸市のみになりこれは異例ではないか。
- (事務局) 前体制からの引継ぎで、第4次子供読書推進計画は‘作らない’ということで理解している。神戸市全体として、事業の計画はできるだけ廃止又は統合し減らしていきましょうという方針の下で動いており、子供読書推進計画と生涯学習総合計画については、新たな計画は定めずに、教育振興基本計画に統合していくという方針で進めて行く次第。目黒委員への説明が不十分であったことについては申し訳なかった。
- (目黒委員) 統合することは全然かまわないが、3つの重点事業に散りばめられている子供読書推進計画を、何らかの形で例えばリーフレットとしてまとめて出してもいいのではないかという話を、これまでの話し合いの場でしていたと認識しているが、それもできないのか。
- (事務局) それについては検討の余地はあるかと思う。
- (目黒委員) 教育振興基本計画に盛り込まれているものをベースに、より詳細な内容を何らかの形で‘第4次子供読書推進計画’として市民の方に示すことができると強く希望する。
- (事務局) 第4次計画という名前がつけられるかどうかは分からないが、何らかの形でまとめることについては検討の余地はあるかと思う。
- (目黒委員) 第4次計画という名前をつけないと、子供読書推進計画を神戸市が進めているということが国から認識されないがそれでもいいのか。
- (事務局) 少し検討させてほしい。
- (三浦委員) これを持ち帰って、出た答えについては、書面か何かで我々に報告いただけるか。
- (事務局) それはもちろん報告させていただく。
- (議長) 神戸市の、計画をなるべく統合化するという意図が個人的にはよく分からない。教育振興基本計画に生涯学習総合計画や子供読書推進計画が統合されることにより、今まで推進してきた計画が分散化し消えてなくなならないような仕組みを考えていかなければならないし、社会教育・生涯学習が制度的に消えていかなないようにしなければいけないと思う。
- では、教育振興基本計画の重点事業に関して、何か意見・質問等あるか。
- (辻委員) 社会教育や生涯学習がどこの領域なのか、全国的にその境界が薄らいできているように思う。学校教育というのがまず軸であって、その隙間を社会教育が埋めている。その境界の部分の議論をもう少し積み重ねていきたいと思う。
- (齋藤委員) 計画の重点事業をみていると、神戸市が神戸市の施設を使ってがんばりますという計画に見えてしまう。今からの時代、民間の力や企業の力を社会教育の場に生かしていくといった視点が、どこかに書かれていたほうがいいのではないか。トライアルウィークなど企業と協力した事業が実際あるわけなので、生涯学習総合計画を作らない以上、書くべきと思う。具体的には重点事業14の主な取組②の中の一文中に「大学や青少年育成団体等」とあるが、ここに民間企業の文

言もいれるべきではないか。

(事務局) 計画自体をスリム化していく方針の下、文言についてはあくまでもミニマムで記載している。具体的に文言が記載されていないからといって、含まれていないということではない。社会教育の分野で企業との連携は今までやったことが無いので、具体的にどう進めていくのかはこれから考えていかなければいけないが、民間企業との協力という視点は否定するものではない。

(議 長) 事務局側の方針は、教育行政のスリム化・学校教育の拡充。この両方をバランスよくしていきたいということ。それ自体は悪くないと思うが、スリム化の過程で何を残していくかの議論が十分に行われていない。先ほど辻委員が発言された、「学校教育が軸である」という考え方をどのように変えていけるか。社会教育がその隙間を埋めているという考えだとそのうち社会教育は消えていく。子供の育つ主たる場所は家庭であり地域である。そしてその他の施設の一つに学校があるという認識に変えていく必要があるが、学校現場の人間が中心にいる教育委員会では中々理解されにくい。そのあたりを粘り強く働きかけていく運動を市民の方を中心にやっていく。それをわれわれが支えていく必要があるのではないか。

(事務局) 決して社会教育を軽視しているわけではなく、子供は学校だけでなく家庭や地域の中でも育つというのはその通りだと思っている。ただ、昨今の教育委員会の置かれている現状(いじめ問題に関連し信用失墜している現状など)を踏まえ、どこに重点を置いていくかという視点が、この教育振興基本計画にはあるということをご理解いただきたいと思う。

(議 長) いじめ問題でいうと、今回の教育振興基本計画では、いじめは起こるものとされており、いじめが起きないように社会を作ることについてはあまり重要視されていないように思う。現実問題としていじめは起こるものだが、我々の立場としては、いじめが起きないように社会風土をどう作っていくか諦めずに考え議論する必要があると思う。

(4) その他① 埋蔵文化財センター春季企画展「海を見つめて」報告等について

(事務局) 資料4により、埋蔵文化財センター春季企画展について説明。

(議 長) 質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

(5) その他② 神戸市立博物館リニューアルオープンについて

(事務局) 資料5により、神戸市立博物館リニューアルオープンについて説明。

(議 長) 質問、意見はあるか。

(目黒委員) 1階のスペースでイベント、例えば音楽会等できないか。

(事務局) 問い合わせはあるので色々検討はしているが、現実的ではない。夜一旦閉館してから等考慮しないでもないが、そうなると集客の問題が出てくる。

(議 長) ミュージウムカフェの運営母体はどこになるか。

(事務局) 母体という意味では私共ですが委託先は tooth tooth。喫茶だけでなく shop も出していただけるので、shop の売り上げの10%は博物館に入れていた

だくという契約になっている。収支がどうなるかは開店してみないと分からないが。

(議 長) あまり赤字だと、博物館が市立で運営できなくなる恐れがあるので、そこはよろしくお願いしたい。

(7) その他③ 北神図書館の開館、利用状況について

(事務局) 資料6により、北神図書館の開館、利用状況について説明

(議 長) 神戸市の他の図書館についてもリニューアルの予定はあるか。

(事務局) 西図書館が今まさに、事業者を募集しているところ。三宮図書館は、駅前再開発に伴いリニューアル予定。教育振興基本計画に少し記載されているが、垂水図書館もリニューアルの方向で調整中。

(議 長) 本日の議題はすべて終了したが、全体を通して何か意見があればどうぞ。無いようなら事務局に進行をお返しする。

6. 閉 会：教育企画担当課長

【以上】